

福島県耶麻郡猪苗代町

⑪猪苗代町体験交流館

施設HPアドレス

<http://town.inawashiro.fukushima.jp>

<ポイント>

- ・公園エリアに公共施設を集約化。
- ・町内の住民だけでなく、観光客を含む町外利用も促進。

施設概要

- 複合施設（床面積）／2710.89㎡
- 整備時期／平成21年
- 構造／鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建
- 総工費／16億円
- 主な財源／国庫補助金



施設整備の背景

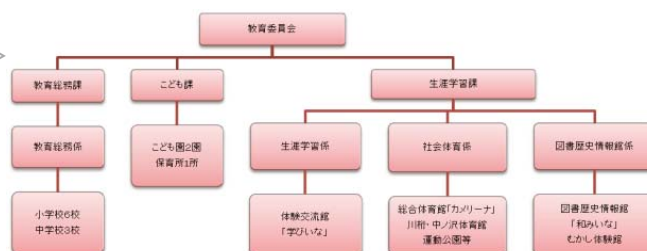
昭和62年に猪苗代町文化センター建設基金を設置して以来、町民の悲願であったホールを有する文化総合施設を、亀ヶ城公園の中に整備した。

管理・運営の体制

猪苗代町教育委員会生涯学習課による管理・運営（直営）

課長、生涯学習係長、社会体育係長、主査（4名）、社会教育主事（1名）、主事（1名）、社会教育指導嘱託員（1名）、施設管理嘱託員・臨時職員（5名） 合計15名

<組織図>

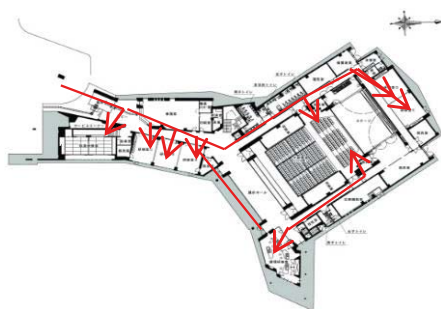


施設の配置・動線

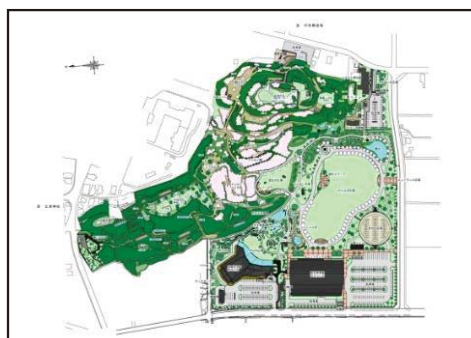
<ポイント>

- ・亀ヶ城公園のエリアに、体験交流館（学びいな）、総合体育館（カメリーナ）、図書歴史情報館（和みいな）が、集約的、一体的に整備されている。
- ・また、同じ公園内にみんなの広場、じゃぶじゃぶ池等多様な設備が配置されている。

<立面図>



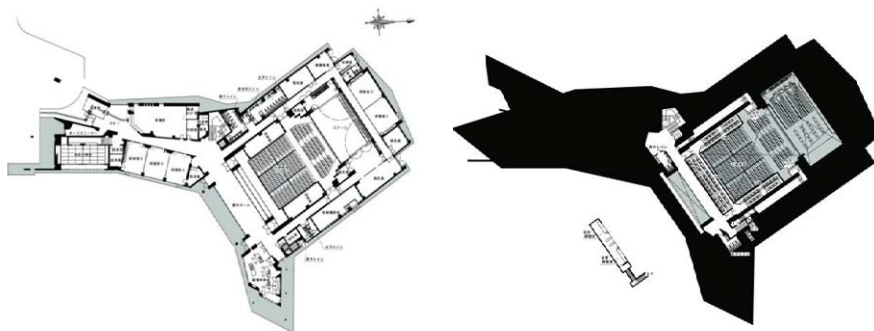
<配置図>



平面計画上の特徴

<ポイント>

- ・大研修室、展示ホール、研修室 A,B,C,D,E、和室研修室、調理研修室、休憩室、授乳室、事務室がすべて1階に配置されている



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・506席のホールを有する施設となり、大きなイベントの開催が可能になった。また、町民主体のイベントが以前より多く開催され、晴れの舞台を目指し町民の学ぶ意欲の向上につながっている。
- ・複合化することにより、以前からあった文化団体連合会が体験交流協会に発展し、文化団体のみならず、体験交流館で活動する様々な団体のつながりができ、官民連携の協働体制ができた。
- ・開館当初より、公園エリア内において体験交流館を中心に、学びいな夏祭り（主に作品展示や活動発表）と秋祭り（主に各種団体の舞台発表）を二日ずつ開催しており、町民の文化・芸術活動の交流の場として、町内外の様々な団体や個人が連携して活動の場を広げている。

【課題】

- ・当町は大きく6地区に分かれており、県内でも広い面積を有する町であるが、以前からも、公民館は町内に一箇所であった。体験交流館の建設により、更に複合的な機能が集約された形となり、体験交流館から離れた地区の町民の利用が少ないのは否めない。出前講座の開催など工夫しながら多くの町民に利用してもらおうのが課題である。

主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○ 住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用（PFI など）
管理運営の工夫	その他

【生涯学習施設の位置づけ】

- ・複合化及び関連する生涯学習施設との一体的な活用により、コミュニティの拠点づくり、にぎわいづくりに寄与する。



【相互利用・交流活動】

- ・当町は磐梯山、猪苗代湖等豊かな観光資源を持つ観光の町でもあることから、合宿誘致等積極的に町外の方の利用も推進している。

【住民からの意見反映】

- ・PDCA サイクルにより、町民、利用者の意見を館の事業運営に反映させるよう努力している。

福島県南会津郡南会津町

⑫南会津町御蔵入交流館

施設HPアドレス

<http://okura.minamiaizu.org/>

<ポイント>

- ・建設を予定していた公共施設を一つにまとめ、費用の削減を図る。
- ・施設の設計の際に、ワークショップを開催し、住民からの意見を反映。

施設概要

- 複合施設（床面積）／6,411㎡
 - ・中央公民館（624㎡）
 - ・図書館（655㎡）
 - ・御蔵入交流館文化ホール（3,534㎡）
 - ・保健センター（334㎡）
- 複合化前の総床面積／1,026㎡
- 整備時期／平成16年開館
- 構造／RC造（一部鉄骨）・地上3階
- 総工費／31.9億円
- 主な財源／一般財源



施設整備の背景

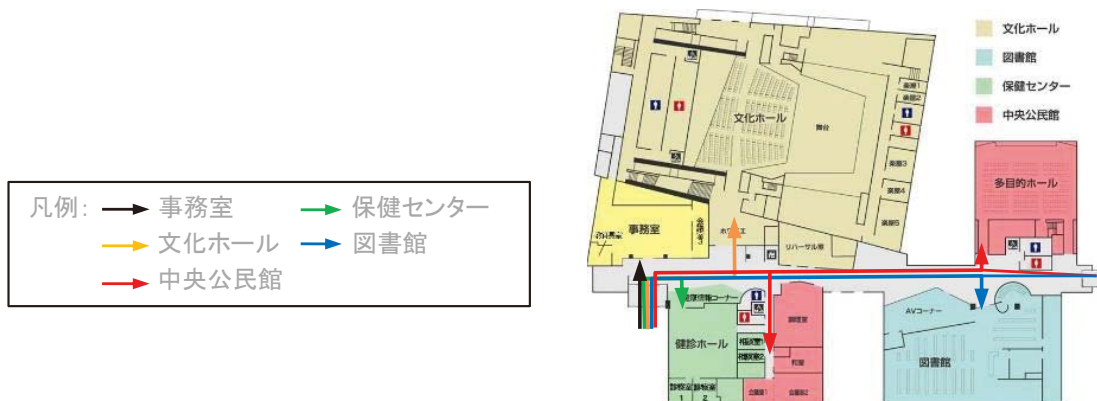
中央公民館、図書館、文化ホール、保健センターを建設予定だったため、施設を一つにまとめ、建設費用や管理費などの削減を図った。

管理・運営の体制

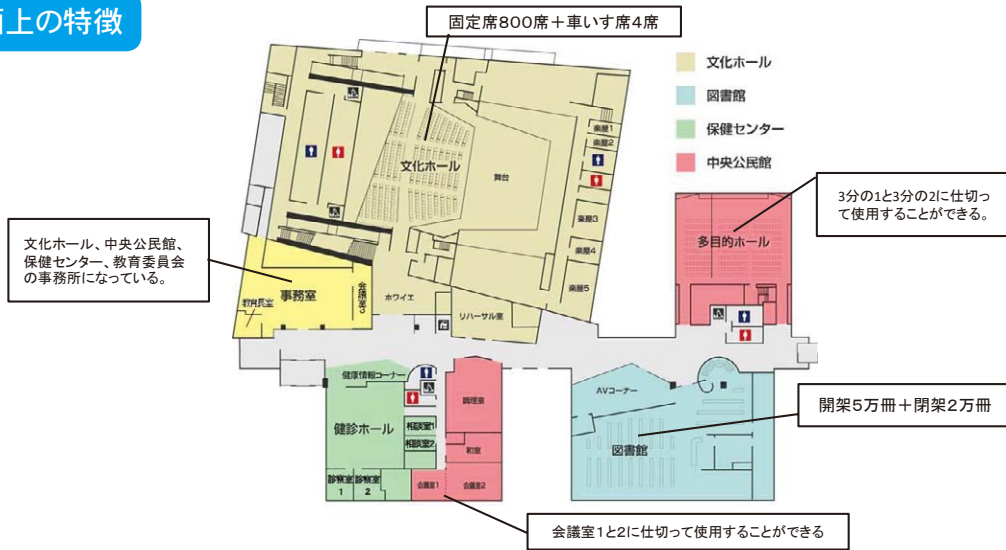
施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
中央公民館	9:00～22:00	教育委員会	生涯学習課	5	6
図書館	10:00～18:00	教育委員会	図書館	4	1
文化ホール	9:00～22:00	教育委員会	生涯学習課	3	0
保健センター	8:30～22:00	健康福祉課	健康増進係	8	0

施設の配置・動線

- ・文化ホールと保健センター、中央公民館は入口は一緒だが、使用の際の申請はそれぞれ別になっている。



平面計画上の特徴



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・住民や文化団体等からの建設要望のあった「文化ホール」の建設について、建物の老朽化が進んでいた「中央公民館（図書室）」や、町民の健康づくりを推進するために建設を予定していた「保健センター」を複合施設として建設することにより、地域コミュニティの核として他世代との交流や情報交換が図られ、各施設の利用者の増加につながった。（また、複合施設による建設費の削減や施設管理の一元化によりコストを抑えることができた。）

【課題】

- ・建設から10年が経ち、施設の修繕費が莫大になっているため、年次計画を立て、計画的な修繕を進める必要がある。

主な特徴

集約化・複合化による相乗効果の発揮	○	コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○ 住民の意見の取り入れ・反映		民間の力の活用（PFI など）
管理運営の工夫		その他

【コミュニティの拠点づくり】

- ・多目的ホールや調理室、会議室などを一般の文化団体やサークル活動に利用し、町民相互の交流が行われている。
- ・公民館の講座等から自主活動団体へつながっている。

【住民からの意見反映】

- ・施設の基本設計や施設設計の際に住民ワークショップを開催し、色々な方々の意見を取り入れ施設が完成した。完成後も文化ホール運営委員会を組織して、文化ホール自主事業の企画や、各種公演の際には協力などいただきながら運営を行っている。

【図書館の利用の増加】

- ・年間を通じて「わくわく図書館ワーク」事業を実施しており、おはなし会や映画会を企画したり、季節にあった遊びを取り入れたりすることで、親子のふれあいや、本に触れる機会が増えるなど地域の幼児や児童が図書館へ来るきっかけづくりとなり図書館利用の増加につながっている。



読書ボランティアによる読み聞かせの様子

茨城県鹿嶋市

⑬大野ふれあいセンター

施設HPアドレス

<http://kashimashi.net/collabo/ohno/index.html>

<ポイント>

- 施設を敷地の北側に集約し配置したことで、南側を駐車場、イベント広場、災害時の防災拠点施設としても活用できるよう配慮。

施設概要

- 複合施設（床面積） / 2,689.22㎡
 - ・大野公民館（1,809.19㎡）
 - ・中央図書館大野分館（554.90㎡）
 - ・大野出張所（328.13㎡）
- 複合化前の総床面積 / 3,926.45㎡
- 整備時期 / 平成 21 年～ 23 年
- 構造 / RC 造一部 SRC 造・地上 2 階
- 総工費 / 11.9 億円
- 主な財源 / まちづくり交付金
(現 社会資本整備総合交付金)



大野ふれあいセンター正面玄関

施設整備の背景

- 大野出張所及び大野公民館の耐震化や老朽化、バリアフリー化、利用者の減少など、様々な問題がありそれらの解決策として、それぞれの施設を融合し、利便性の高い複合施設として整備する案が出された。様々な活動を通して市民一人ひとりの力を発揮し、市民がつくる市民のためのまちづくりを展開する施設として整備した。

管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
公民館	9:00～21:00	教育委員会	教育委員会	14 うち福祉 6	5
図書館	10:00～18:00	教育委員会	教育委員会	9	2
出張所	8:30～17:15	首長部局	首長部局	7	8

施設の配置・動線

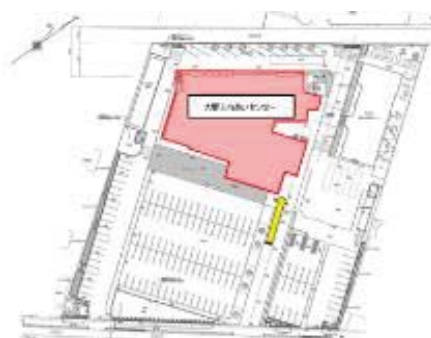
<ポイント>

- 大野公民館、中央図書館大野分館、大野出張所の3つの機能を複合施設として集約し、出会い・集い・学びを基本として、専用室ではなく多目的に利用できるように平面プランを計画している。
- 多くの人に利用してもらえらるよう施設全体を北側に配置することで駐車場をイベント広場としても活用することが可能。
- 『高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律』（新ハートビル法）の認証を受け、誰もが利用しやすい施設として整備をしている。

<立面図>



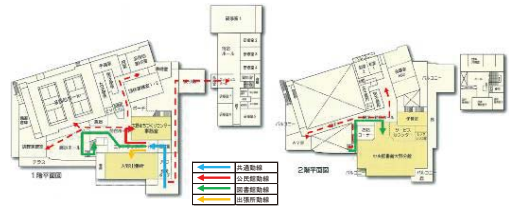
<配置図>



平面計画上の特徴

<ポイント>

- ・短時間の利用や受付機能を重視する公民館事務室及び大野出張所事務室は、1階に配置し、子どもが多く利用する図書館については、2階に配置している。
- ・1階にはホールとテラスを設け、さまざまな利用者が交流できるスペースを整備している。
- ・防災拠点として、災害時に炊き出しが可能な調理実習室及び備蓄倉庫を1階に配置している。



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・維持管理を一括して行うことで、施設全体を把握することができ、それぞれが連携し、効率的な管理運営ができています。
- ・施設の利用者数については、整備前は平均203名/日でしたが、現在は412名/日となっている。施設全体が明るくなり、設備も充実し、利用しやすい環境になったことから、全体の利用者は倍増している。
- ・全体的に多目的に活用可能な施設としたため、文化・芸術団体、スポーツ団体と多くの利用団体が活用している。
- ・それぞれの施設を集約し、施設を敷地の北側にできる限り寄せて配置したことで、南側を駐車場兼イベント広場として活用が可能となった。それにより、多くの市民の交流や団体の発表の場として活用されている。

【課題】

- ・施設ごとに開設日時が異なるため、毎日使用できる施設としての要望が多くなっている。
- ・基本的に予約制になっていますが、利用頻度の高い部屋は、予約が取れない場合がある。多くの市民に利用してもらいたいと考えているが、利用者が固定化されつつある。
- ・利用者は年々増加しているが、「お互い様」「譲り合い」の精神が薄れ、利用時間、利用回数の要望が増加している。

主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○ 住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用 (PFI など)
管理運営の工夫	その他

【相互利用・交流活動】

- ・大野ふれあいまつりでは、野外演技発表、ゲーム大会、ふれあい横丁、キッズコーナー、お話し会、体験教室、作品展などの地域に根差した、地域市民による交流イベントを行っています。老若男女問わず多くの市民が訪れ、楽しみ、活躍する大野区域のメインイベントとなっている。



大野ふれあいまつり

【住民からの意見反映】

- ・大野ふれあいセンターを各種団体の活動拠点となる複合施設として整備するにあたり、市民参加による施設づくりを行うため、地域市民や行政委員、利用団体、PTA、子ども会、学校関係者等24名からなる建設検討委員会を設置し、多岐にわたるさまざまな意見を聴取、集約をして、可能な限り実施設計に反映させた。



【施設整備の工夫】

- ・当施設は、「出会い」「集い」「学び」を基本とした、市民のための施設となっている。バリアフリー化をすることで人にやさしく、太陽光設備や夜間電力、雨水利用など環境にもやさしい施設として整備している。施設を北側に配置することで、イベント会場や災害時の防災拠点施設としても活用できるように配慮している。



建物を敷地の北側に寄せて配置したことで、敷地の南側を駐車場としてイベント等に使えるスペースとした。

地域住民・利用者等の声

- ・それぞれの部屋を多目的に利用可能な部屋としたため、利便性が向上しさまざまな用途、活動に利用できるようになった。
- ・施設全体をバリアフリー化し、子供からお年寄りまですべての人が利用しやすい環境整備をしたことで多くの人が利用できるようになった。
- ・市民の意見を取り入れ設計を行ったため利用しやすい施設となった。
- ・フリースペースを多く設けることで、近隣小・中学校の憩いの場になっている。
- ・多目的ホールができたことで今まで公民館を利用していなかったが利用するようになった。

栃木県栃木市

⑭ 栃木市西方公民館・栃木市図書館西方館

施設HPアドレス

<http://www.library.tochigi.tochigi.jp/nishikata/index.html>

<ポイント>

- ・市町村合併を契機に、社会教育施設を再編し、図書館も整備。
- ・公民館と図書館の施設間の相互利用により、有効活用を図る。

施設概要

- 複合施設（床面積） / 1088.737㎡
 - ・ 栃木市西方公民館（952.737㎡）
 - ・ 栃木市図書館西方館（136㎡）
- 複合化前の総床面積 / 1088.737㎡
- 整備時期 / 平成24年
- 構造 / RC造・地上2階
- 総工費 / 1.1億円
(西方公民館 昭和49年建築当時)



栃木市西方公民館・栃木市図書館西方館は栃木市役所西方総合支所と併設

施設整備の背景

・平成23年10月1日旧栃木市と旧西方町が合併して栃木市となる。合併協議において、図書館は、合併後再編することとしていた。旧西方町には、公民館図書室しかなかったため、合併後の協議により平成24年4月1日から公民館図書室を図書館西方分館として開館した。現在は西方館。

管理・運営の体制

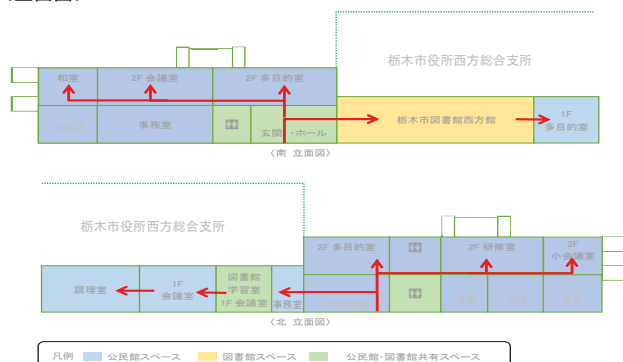
施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
公民館	9:00～22:00	教育委員会	教育委員会	4	6
図書館	9:00～19:30	教育委員会	指定管理者：山本有三記念会・図書館流通センター共同事業体	4	0

施設の配置・動線

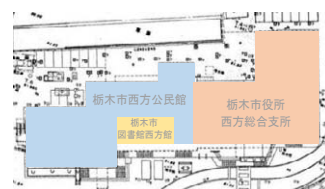
<ポイント>

・「栃木市役所西方総合支所」と併設されている「栃木市西方公民館」の一室を「栃木市図書館西方館」としたもので、明確な区分はほとんどなく、玄関・ホール・トイレなどの共有スペースのほか、公民館の1F会議室を図書館の学習室として開放するなど、有効活用を図っている。

<立面図>



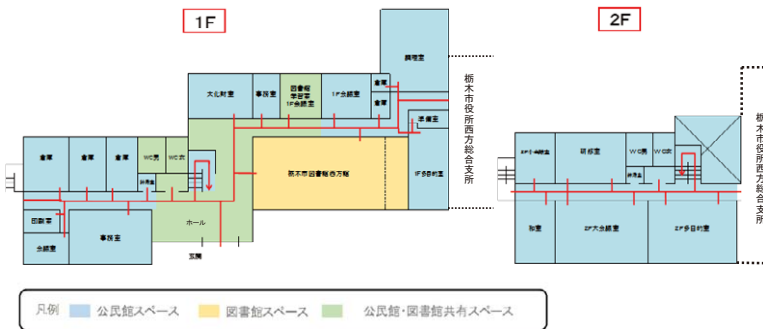
<配置図>



平面計画上の特徴

<ポイント>

- ・多目的に利用できる公民館と図書館の共有スペース。



図書館



雑誌コーナー



児童書コーナー



学習室

複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・図書館を設置したことにより西方地域の市民の図書館利用が増えた。また、市内にある他の図書館（5館）とシステムを統一したことで、相互に資料を利用することが可能となり、利便性がさらに向上した。
- ・定期的な図書館での読み聞かせなど、読書推進活動の機会が増加した。
- ・公民館及び西方総合支所の利用者が図書館に立ち寄り図書館を利用するなど、集約施設間の相互利用による相乗効果がある

【課題】

- ・建既存の施設を活用し図書館を設置したため、蔵書増のための書棚の追加や、利用しやすい動線などのレイアウトの変更が限られてしまう。

主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映	○ 民間の力の活用（PFI など）
○ 管理運営の工夫	その他

【相互利用・交流活動】

- ・公民館と図書館の共有スペースである公民館のホールは、公民館や図書館だけでなく栃木市内の情報の発信基地となっている。公民館講座や市内イベント情報の閲覧及び地域の方（文化協会など）のギャラリースペースにもなっている。
- ・公民館と図書館双方での多目的な活用が可能で、図書館の定期利用者がホールのイベント情報から各種公民館事業に参加していただいたり、公民館の定期利用者が図書館を利用したりするなど、相乗効果が生まれている。
- ・公民館の施設を図書館の講座や図書館の学習室として開放するなど有効活用が図られている。



【施設関係者のコメント】

- ・公民館施設に図書館があることで、休日や夏休み期間など、児童・生徒及び幼児を連れた親子の来館者が格段に増えている。図書館はもちろん学習室を利用して、調べもの、宿題や勉強に取組む姿も多く見られる。定期的に読み聞かせなども実施されているので、親子の居場所づくりの一翼を担っている。地域の生涯学習の拠点施設としての役割を担う公民館にとって、図書館機能も兼ね備えられることは意義深い。

【民間の力の活動】

- ・平成26年度から指定管理者制度を導入し、図書館を運営している。図書館の専門性を生かすため、図書館司書を配置するなど民間のノウハウを活用した運営を行っている。

地域住民・利用者等の声

- ・図書館に常時職員が配置しているため安心して利用できる。
- ・図書館となったので、より一層、資料の充実を期待している。

群馬県前橋市

⑮前橋プラザ元気2 1

施設HPアドレス

<http://www.city.maebashi.gunma.jp/jigyousya/331/338/345/p002588.html>

<ポイント>

- ・中心市街地の活性化と市民交流促進を図るために設置され、利用者の昼食場所として中心市街地が利用されるなど、活性化の一翼を担う。

施設概要

- 複合施設（床面積）／26,412㎡
 - ・中央公民館（7,271㎡）
 - ・こども図書館（1,563㎡）
 - ・市民活動支援センター（480㎡）
 - ・証明サービスコーナー
- 複合化前の総床面積／4,257㎡
- 整備時期／平成19年
- 構造／RC造・地上7階
- 取得費／50億円
- 主な財源／まちづくり交付金、合併特例債



施設整備の背景

- ・中心市街地の活性化と市民交流促進を図るため整備した複合施設。

管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
中央公民館	9:00～22:00	教育委員会	生涯学習課	7	8
こども図書館	10:00～18:00	教育委員会	図書館	3	0
市民活動支援センター	10:00～19:00	市長部局	指定管理者	6	0
証明サービスコーナー	10:00～19:00	市長部局	市長部局	6	0

施設の配置・動線

- ・中央公民館と市民活動支援センターは、同フロア（3階）に位置しており、明確な分けは設置していない。
- ・こども図書館は2階に位置しており、エレベータ及び階段により容易に行き来できる構造になっている。

<立面図>

前橋プラザ元気21		フロア
→	専門学校	7階
→	専門学校	6階
→	公民館	5階
→	公民館	4階
→	公民館（事務室）	
→	こども図書館	2階
→	証明サービスコーナー	1階
→	生鮮食料品スーパーマーケット	地下

<配置図>



平面計画上の特徴

<ポイント>

- ・市民交流プラザ、こども交流プラザ、地域交流プラザの3つにジャンル分けをしている。



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・ 中心市街地の活性化と市民交流促進を図るため設置された施設で、平成27年度来館者数が147万人にもなっており、中心市街地活性化の一翼を担っている。
- ・ 特に、中央公民館高齢者教室「明寿大学」が行われる隔週月曜日については、昼食場所として中心市街地に出かけるなど、一定の効果が出ている。(平成27年度中央公民館利用者数、約32万人)

【課題】

- ・ まちの交流拠点として機能を十分果たせるよう工夫するとともに、中心市街地への回遊性を高める取組が必要となっている。
- ・ 既存施設を大規模改修した施設であることや、多くの機能を集積させた複合施設という性格や位置づけを踏まえ、予防保全の視点を含めた計画的修繕を実施する必要がある。

主な特徴

集約化・複合化による相乗効果の発揮	○	コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映		民間の力の活用（PFI など）
管理運営の工夫		その他

【にぎわいづくり】

- ・ 中心市街地に、10室ものスタジオや学習室等を備えた公民館、子ども図書館等を集約することにより、単なる公民館利用に留まらずにぎわいづくり、コミュニティの拠点づくりの中核施設となっている。また、特に3階の公民館ホワイエは共有スペースであり、老若男女問わず多くの方々の交流場所となっている。公民館年間利用者数は32万人、子ども図書館など施設全体の利用者数は147万人と盛んに市民交流が行われる施設となっている。

<主な公民館活動>

【高齢者教室明寿大学】

- ・ 明寿大学は、生涯学習の一環として全国に先駆け、昭和46年に前橋市中央公民館の高齢者教室「明寿大学」として創設された。4学年で440名在籍し、学習成果の地域還元を目指して様々な学習活動に取り組んでいる。

【市民の茶席】

- ・ 昭和46年6月、前橋茶道会と中央公民館の共催により最初の「市民の茶席」が開催。当時の中央公民館にあたる臨江閣の茶室は明治17年に当時の県令である榎取彦彦氏等の寄付により竣工されたもので、庭園の茶笕塚とともに明治から昭和にかけて前橋の茶道文化の中心となっていた。このような由緒ある茶室を、広く市民に開放するとともに、茶道の普及・発展を図ることを目的として、普段着で参加できる親しみやすい「市民の茶席」が始まり、平成19年12月に現在地へ移転後は、より気軽に茶道体験できるように、多くの市民の方々が訪れている。

【少年教室（Mキッズサミット）】

- ・ Mキッズサミット（M=前橋市）は、次世代を担う子供たちの「未来を生き抜く力」を育成する少年教室。中心市街地でのまちなか探検や商店街や地域の人への取材などを通じて、まちなかの現状や各学年のテーマに沿った情報収集や自分の中の「気づき」、「伝えたいこと」をグループで協力しながら成果としてまとめ、サミットで発表し、意見交換を行っている。中央公民館が核となり、NPO団体・地元大学の学生スタッフが企画、運営から参画し、中心商店街協同組合に協力を得ながら体験学習することで、「自ら考える力」「自ら行動する力」や、より円滑な「人間関係を築く力」を学んでいる。



明寿大学入学式・進級式



市民の茶席



商店街の取材の様子

埼玉県ふじみ野市

⑩ふじみ野市立大井図書館・大井郷土資料館

施設HPアドレス

<http://www.library.fujimino.saitama.jp>

<ポイント>

- ・図書館と資料館の専門性を活かし、利用者の学習効果の拡がりや深まりに寄与している

施設概要

- 複合施設（床面積）／2,220.59 m²
 - ・大井図書館（1,403.04m²）
 - ・大井郷土資料館（817.55m²）
- 整備時期／昭和63年
- 構造／鉄筋コンクリート造・地上2階
- 総工費／4.86億円
- 主な財源／一般財源、公立社会教育施設整備費補助金、国宝重要文化財等保存施設整備費補助金



ふじみ野市立大井図書館・大井郷土資料館

施設整備の背景

- ・図書館、資料館設置の必要から、建設時に複合施設として設置した。

管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
大井図書館	月～金 9:30～19:00 土日祝 9:30～17:00 第2,4,5月曜休館	ふじみ野市教育委員会教育部 社会教育課	直営	10	0
大井郷土資料館	全日 9:30～16:30 第2,4,5月曜休館	ふじみ野市教育委員会教育部 社会教育課	直営	4	0

施設の配置・動線

<ポイント>

- ・入り口を入れて左が郷土資料館、右が図書館という配置・トイレ、駐車場、行事のための集会施設等の設備は共有

<立面図>

			階段		
図書館書庫	資料館収蔵庫	会議室	←	→	研修室
図書館事務室	資料館事務室	図書館閲覧室	←	→	資料館展示室等
					2階
					1階

平面計画上的特徴

<配置図>

1F



2F



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・郷土に関する調査をしている際、図書資料等は図書館で提供し、内容によっては、資料館の学芸員の援助や助言を得ることができる。
- ・資料館の特別展の際、図書館で関連図書資料の展示を行うことによって、学習効果の拡がりや深まりを得ることができる。
- ・図書館に来館して資料館の存在を知り、展示室に足を運びきっかけができたり、逆に資料館に来館することで、図書館を利用する互いのきっかけづくりができる。

【課題】

- ・主催行事や関連団体の会議等の日程調整が困難な場合がある。
- ・資料館利用者のコピーの要求を、図書館では、著作権法に基づいて運用しているコピー機では利用できないため、最寄のコピー機のある店舗などに案内せざるを得ないことがある。

主な特徴

○	集約化・複合化による相乗効果の発揮		コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
	住民の意見の取り入れ・反映		民間の力の活用（PFI など）
○	管理運営の工夫	○	その他

【相互利用】

- ・郷土資料館の施設の一部を、夏季の図書館繁忙期に、学習室として市民に開放している。
- ・資料館の特別展示の際に図書館でも同様のテーマ展示を行っている。（例「ひな人形展」にあわせて、雛まつりに関連する本の展示など）

【市民ボランティア】

- ・多くの市民ボランティアが、様々な活動を通じて図書館の整備や郷土資料館の活動に寄与し、協働している。
- ・資料館の事業「昔のおうちできく昔話」に図書館の語りのボランティアが協力し、図書館でのおはなし会事業のPRも併せておこなった。



資料館事業による「貝殻細工教室」



図書館ボランティア友の会「玄関前の環境美化」

埼玉県志木市

⑰ 志木市いろは遊学館・いろは遊学図書館・(志木小学校)

施設HPアドレス

<https://www.city.shiki.lg.jp>

<ポイント>

- ・世代間の交流が自然に醸成されている。
- ・公共施設の休館日や小学校の夜間や土日祝日に、各教育活動に相互に活用している。

施設概要

- 複合施設（床面積） / 2,738㎡
 - ・いろは遊学館（1,704㎡）
 - ・いろは遊学図書館（1,034㎡）
- 複合化前の総床面積 / 1,467㎡
- 整備時期 / 平成 15 年
- 構造 / 鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造・地下 2 階地上 4 階
- 総工費 / 33 億円（志木小学校を含む）
- 主な財源 / 起債、自己財源、国庫支出金、県費補助金



施設整備の背景

- ・建物の老朽化及び耐震性の問題
- ・学社融合「地域コミュニティが学校を創り、学校が地域コミュニティを作る」
- ・施設、設備の有効活用

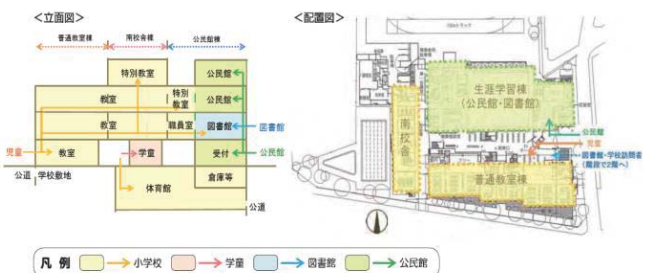
管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
いろは遊学館	9:00 ~ 22:00	教育委員会	直営	5	5
いろは遊学図書館	9:30 ~ 19:00	教育委員会	直営	3	5
(志木小学校)	8:45 ~ 15:45	市長部局		37	33
(学童保育クラブ)	14:45 ~ 19:00	市長部局	委託		

施設の配置・動線

<ポイント>

- ・学校と図書館・公民館で棟や入り口は違うものの、明確な区分はほとんどなく、図書館などは児童と地域が同じ時間に利用している。



平面計画上的特徴



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・世代間交流が自然に醸成される。(いろはふれあい祭り、いろは大学(高齢者大学)と小学四年生の交流、おもてなし給食、図書館利用者と児童(図書委員を含む)等)
- ・志木小学校はいろは遊学館、いろは遊学図書館が休館日にその施設を活用できる。反対にいろは遊学館は志木小学校の特別教室を夜間や土日祝日及び夏休みなどに活用できる。小学校のパソコン教室で市民向けの講座を開催等。(建物、設備・備品が眠らない)
- ・小学校としては市役所との交渉事(工事、修理、修繕等を含む)をいろは遊学館職員が行う。その分、教師としての本来業務に時間を充てられる。
- ・児童からすると市立図書館が同一敷地内にあるので本を手にする機会が多くなる。
- ・志木市に転入する方から、志木小学校区を問い合わせることがある。

【課題】

- ・防犯面・児童の安全確保。(防犯訓練、防災訓練を合同開催し対応。常駐警備員の配置、防犯カメラの設置、全職員PHS携帯(費用の増加)、入館証の着用義務等)
- ・小学校(特に先生方)としては(他校と比較して)学社融合事業(特にいろはふれあい祭り)に大きな時間を割かなければならない。
- ・工事、修繕等の計画が取りにくい。(施設の稼働率が高いため)
- ・エコを意識しすぎた造りで(中水利用、エアコンの夜間電力利用、学習用の風力発電設備、屋上ビオトープ)修繕費用等が嵩む。

主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○ 住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用(PFIなど)
管理運営の工夫	その他

【相互利用・交流活動】

- ・いろはふれあい祭りは利用者と児童、PTA、地域住民、地域連携の学生でにぎわいを創生している。
- ・おもてなし給食は児童のおもてなしをする心を育み、同時に職員の顔を覚えてもらうなど、防犯面にも役立っている。
- ・地域住民と児童のコミュニケーションが深化し、児童の社会性が身につく効果がある。

【住民からの意見反映】

- ・設備整備計画の策定において、庁内プロジェクト以外に市民検討委員会(17名12回)を開催し、広く市民からの意見を聴取した。
- ・防犯面の対策など、市民からの声やアイデアを取り入れている。



ふれあい祭りオープニング



合同防災避難訓練



地域連携



おもてなし給食



小6感謝の清掃

埼玉県川越市

⑱川越市伊勢原公民館・川越市立西図書館・(霞ヶ関北小学校)

施設HPアドレス

【伊勢原公民館】 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/kurashi/bunkakyoyo/kominkan/isehara/index.html>

【西図書館】 <https://www.lib.city.kawagoe.saitama.jp/shisetsu/nishi.html>

【霞ヶ関北小学校】 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/kosodatekyoiku/sho-chu-ko-shien/shogakko/kasumigasekikita/homepage.html>

<ポイント>

- ・公共施設の休館日や小学校の夜間や土日祝日に、各教育活動に相互に活用している。
- ・合同の文化祭を毎年実施し、児童が地域の人々など多くの人とふれあうことができる。

施設概要

- 複合施設(床面積) / 13,705.36㎡
 - ・川越市伊勢原公民館 (736.30㎡)
 - ・川越市立西図書館 (2,068.60㎡)
 - ・川越市立霞ヶ関北小学校 (10,900.46㎡)
- 整備時期 / 平成12年～平成13年
- 構造 / 鉄筋コンクリート造・地上4階
- 総工費 / 33.6億円
- 主な財源 / 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金 等



施設整備の背景

公民館の建設用地は確保されていたが、地元住民からの要望により図書館も併設することとなった。

管理・運営の体制

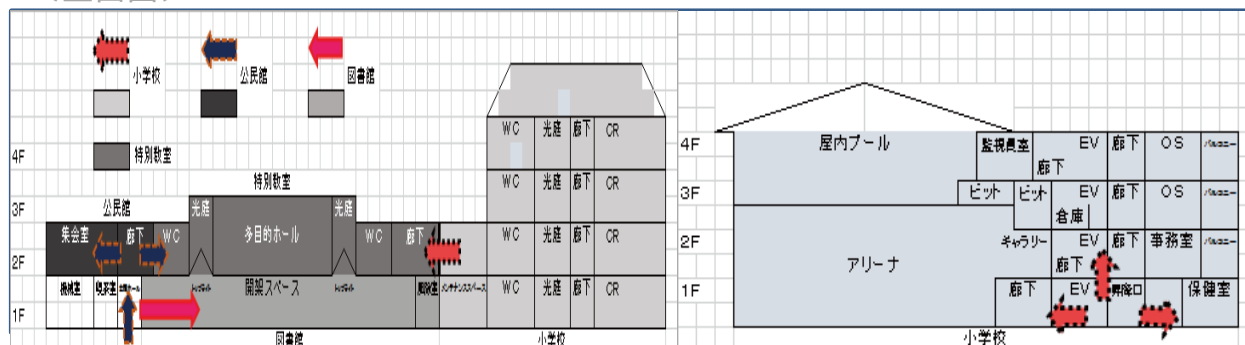
施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
公民館	9:00～21:30	教育委員会	教育委員会	5	—
図書館	9:30～18:00 又は19:00	教育委員会	教育委員会	8	—
小学校	8:15～16:45	教育委員会	教育委員会	26	—

施設の配置・動線

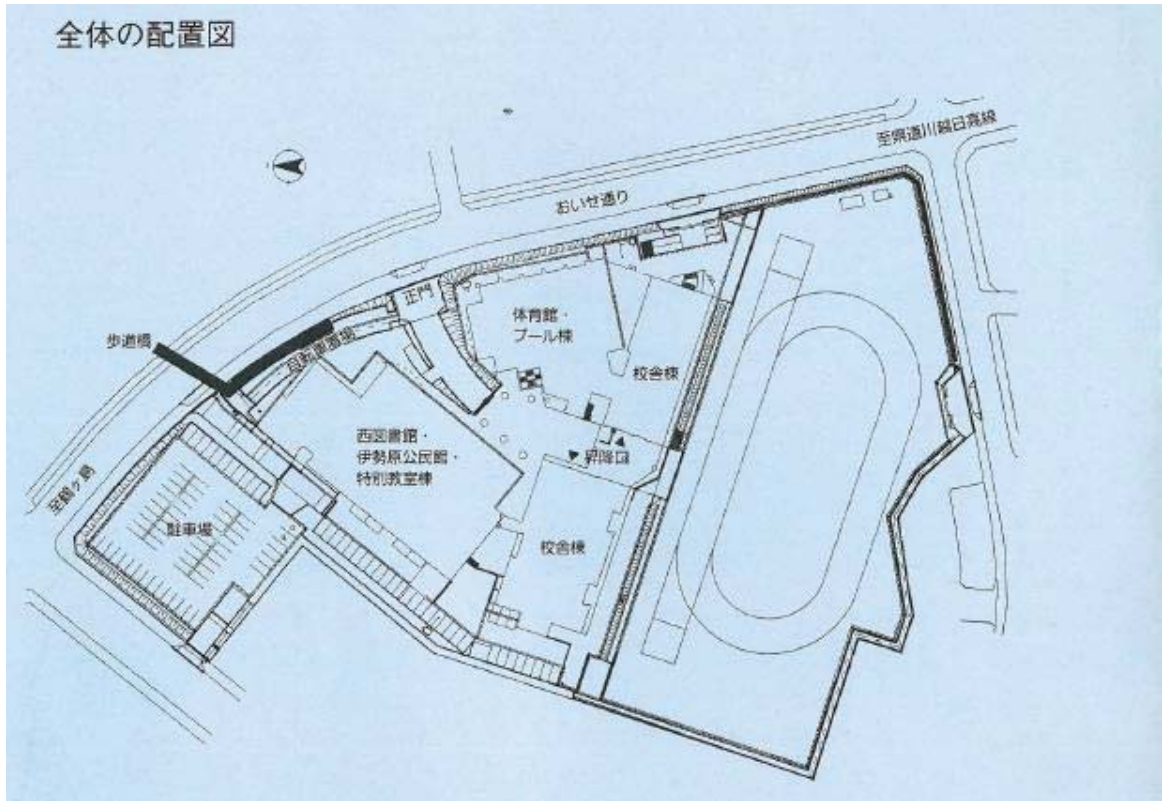
<ポイント>

- ・公民館、図書館と学校では入り口が異なる。
- ・音楽室、調理実習室、図工室、多目的ホールは小学校が使用しない範囲で貸し出しをしているため、中から行き来が可能である。
- ・小学校施設では、体育館の上に屋内プールを設置している。

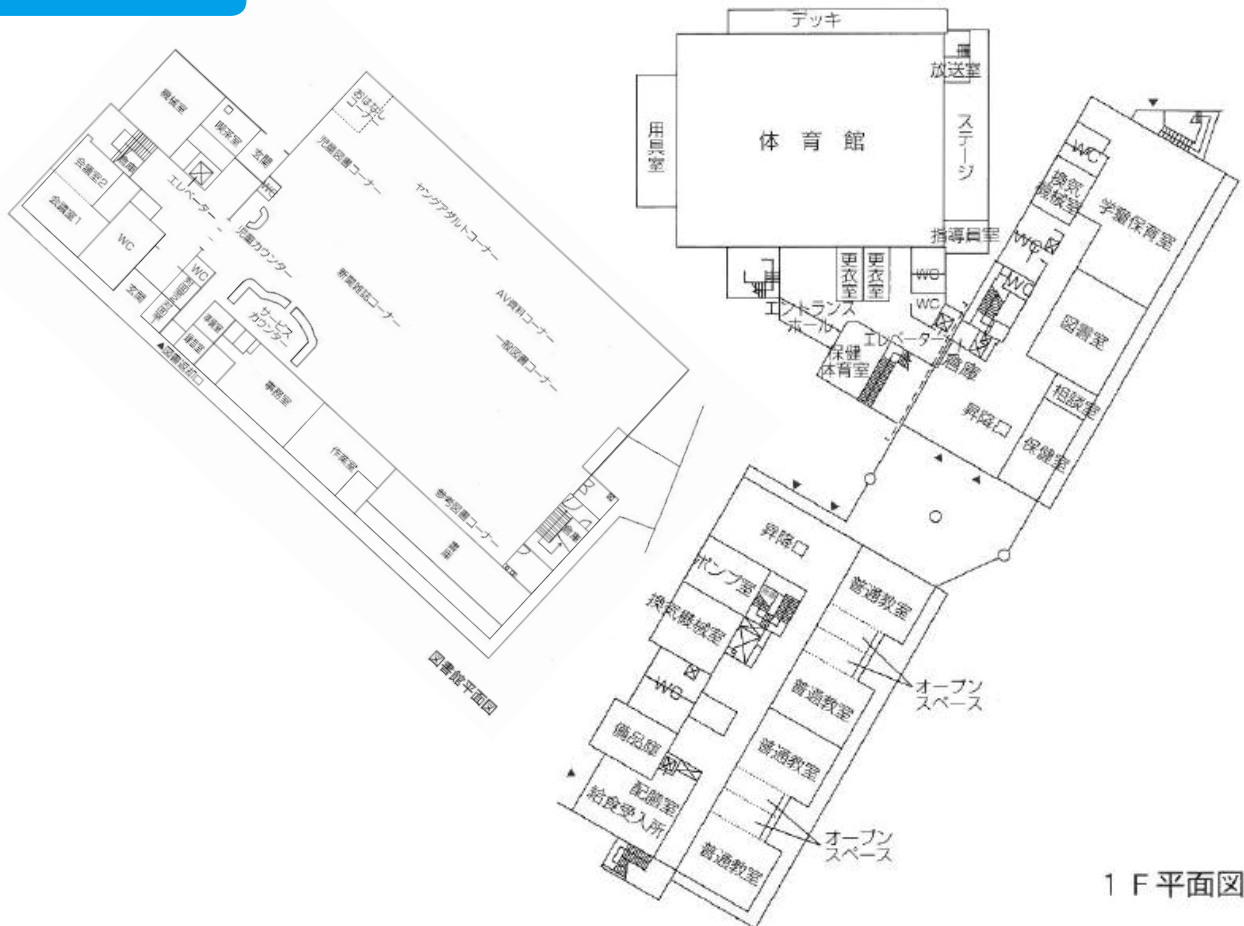
<立面図>



<配置図>

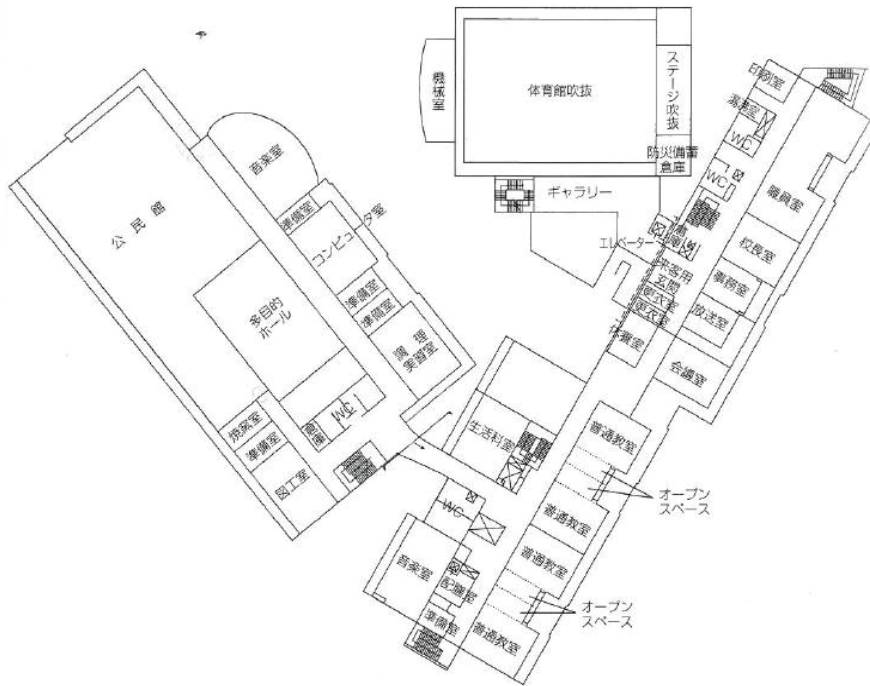


平面計画上の特徴

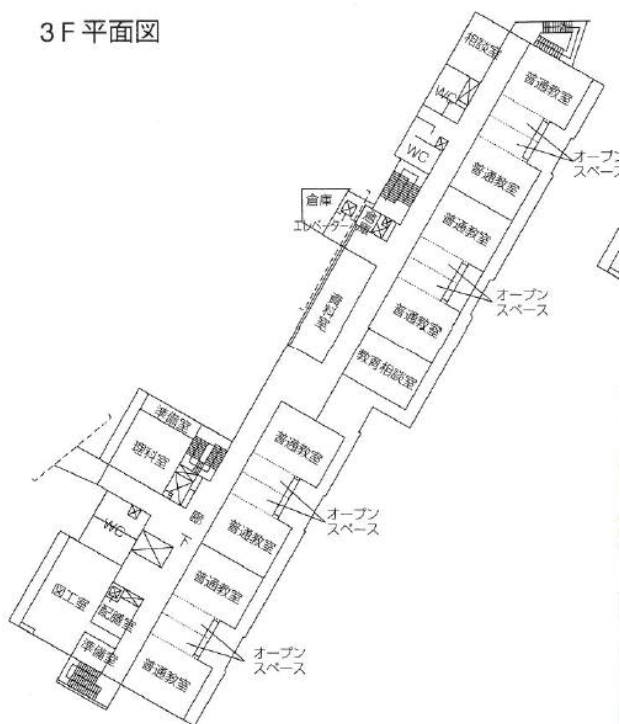


平面計画上の特徴

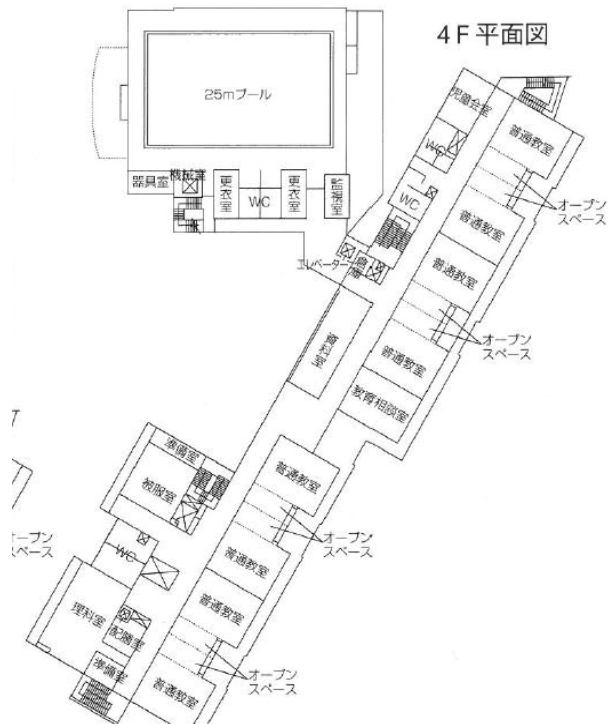
2 F 平面図



3 F 平面図



4 F 平面図



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・音楽室・調理実習室・多目的ホール（特別教室）などが利用できることで学校の教育内容が充実する。学校が使用しない夜間、長期休業期間中に貸出し施設を有効活用することができる。
- ・総合的な学習の時間等、授業の一環や調べ学習において、学校と図書館の連携が密になり、本に親しむ環境づくりが図れる。また、全学年クラス単位での本の団体貸出、ブックトークの実施が可能であり、図書館の利用方法の学習も可能である。
- ・公民館利用者が気軽に図書館に立ち寄ることができるため、利用者年齢層が乳幼児、小学生から高齢者まで幅広い。
- ・学校活動を応援する子どもサポート委員会（小学校応援団部会）の活動拠点が公民館にあり、地域と連携した教育活動が推進できる。

【課題】

- ・1階が図書館、その上の2階に公民館があるため、防音対策がしてあるものの、軽体操の際などに図書館に音が響くことがある。
- ・小学校、図書館、公民館と同じ教育委員会の組織であるにもかかわらず、担当する所管が異なるため、警備、清掃、維持管理業務など別々に管理しているものが多い。

主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用（PFI など）
管理運営の工夫	その他

【相互利用・交流活動】

- ・「優鳩祭」小学校・図書館・公民館3館合同の文化祭を毎年実施。
（ねらい）
①児童が友達や先生だけでなく、複合施設の職員や地域の人々、保護者など多くの人とふれあうことができるようにする。
②優鳩祭を通して3館の連携をより一層強化するとともに、地域の教育力を向上させることができるようにする。
- ・「伊勢原公民館合宿通学」を開館以来継続して実施。
（ねらい）
3泊4日間、子供達が親元を離れ、異年齢での共同生活を体験（公民館に宿泊）しながら通学することにより、家庭・家族の大切さを認識する。さらに、子供同士のふれあいやボランティアの大人とのコミュニケーションの中から人間関係を深め、地域連携の向上を図る。



合同文化祭 優鳩祭

埼玉県秩父郡長瀨町

⑱長瀨町中央公民館

<ポイント>

- ・複合化した施設を職員が一つの施設として管理運営。
- ・会議室等共有することで、事業効率が向上。

施設概要

- 複合施設（床面積）／2,188㎡
 - ・長瀨町中央公民館（409.8㎡）
 - ・勤労青少年ホーム（1,593.2㎡）
 - ・長瀨町コミュニティセンター（185㎡）
- 複合化前の総床面積／不明
- 整備時期／昭和56年
- 構造／鉄筋コンクリート造・地上2階
- 総工費／3.7億円
- 主な財源／一般財源・国庫補助金・県補助金・起債



長瀨町中央公民館正面

施設整備の背景

- ・広く住民に開かれた社会教育の実践機関として、町民ひとりひとりが自らを高めるための学習活動を援助するとともに、明るく住みよい町づくりをめざす幅広い町民の交流の広場づくりをすすめるため。

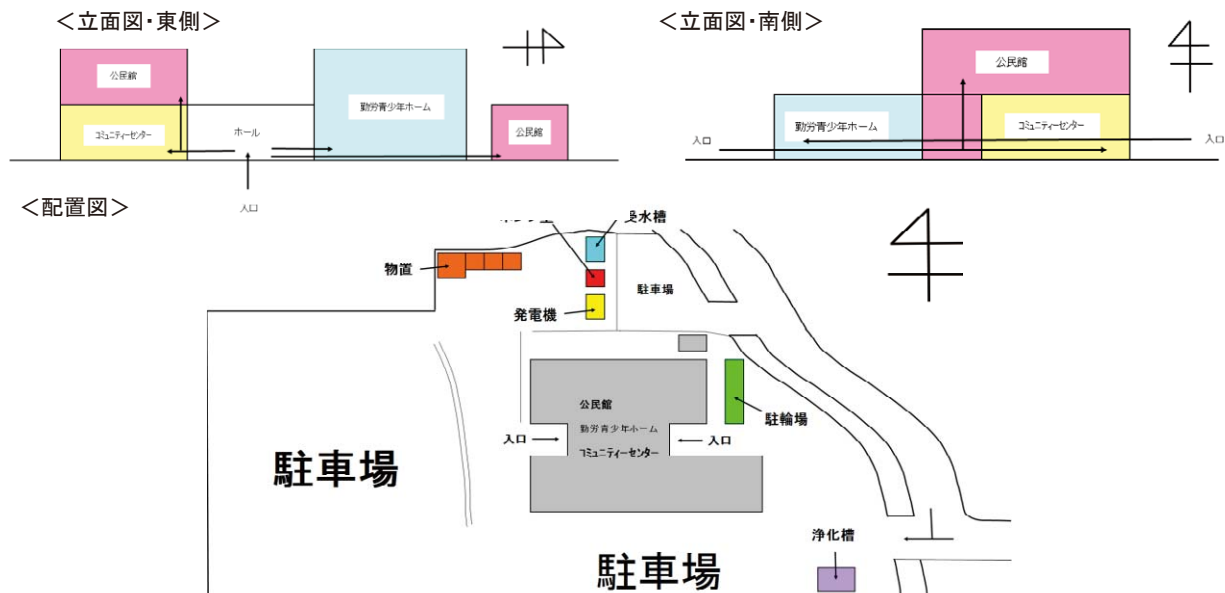
管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
中央公民館	9:00～21:00	教育委員会	教育委員会	3 (兼務)	不明
勤労青少年ホーム	9:00～21:00	教育委員会	教育委員会	3 (兼務)	なし
コミュニティセンター	9:00～21:00	教育委員会	教育委員会	3 (兼務)	なし

施設の配置・動線

<ポイント>

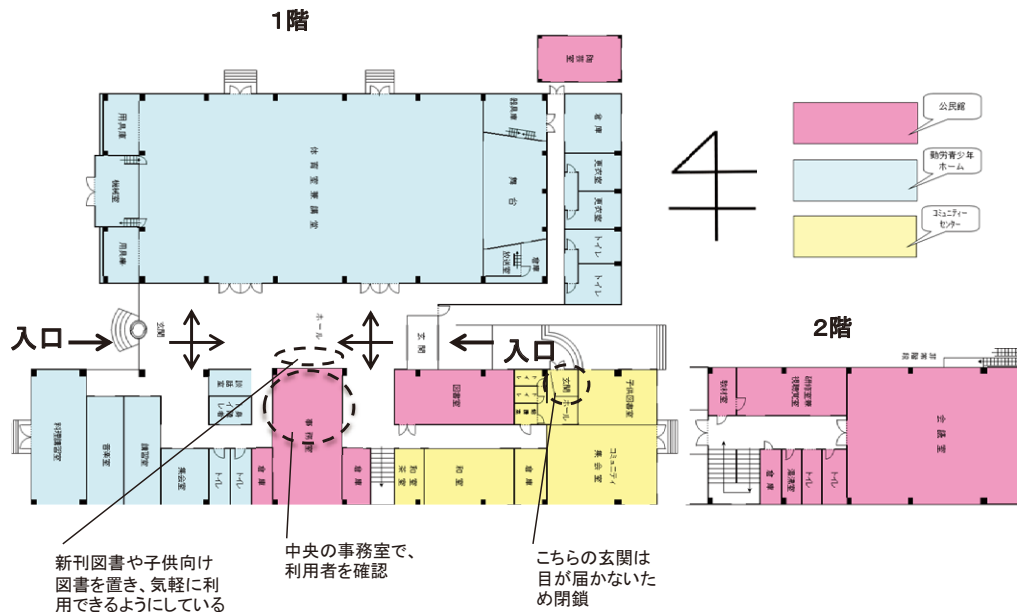
- ・東西に玄関があり、開館時間は出入が自由にできる。



平面計画上の特徴

<ポイント>

- ・三つの複合施設ではあるが、実際は一つの建物として管理運営しているため、入口から各部屋に繋がっている。



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・公民館・勤労青少年ホーム・コミュニティセンターの複合施設であるため、町の主催する福祉関連事業等の利用はもとより、小規模ではあるが軽作業が可能な講習室や調理実習室、和室、体育室等も利用できる。そのため、文化団体やスポーツ団体等の利用団体による主催事業や地域のコミュニティ活動での利用など、町外者を含む幅広い年齢層の方の利用が可能となり、多くの方が利用している。

【課題】

- ・施設及び設備が大きいため、保守点検や修繕などが特殊になる事がある。また、その費用の増額。

主な特徴

集約化・複合化による相乗効果の発揮	○	コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
住民の意見の取り入れ・反映		民間の力の活用（PFI など）
管理運営の工夫	○	その他

・内容

各種公民館事業の教室・講座や当館を使用している自主的団体の発表・展示の場として開催している。

・効果

発表・展示の場を作ること、成果づくりへの意欲や自己啓発に繋がっている。また、施設利用回数も増えて、コミュニティの場としても充実する。

【複合化による事業効率の向上】 「各種公民館・図書室事業」

・内容

公民館による、高齢者向けの介護予防や健康体操教室など、勤労者向けの各種料理教室や陶芸教室など、子供向けの少年教室（押し花絵・陶芸）と、図書室による子ども映画会の開催をしている。

・効果

一つの建物に会議室、視聴覚室、陶芸室、調理室、体育室などがあるため、会場や道具の準備の効率が向上した。

埼玉県和光市

②0和光市図書館下新倉分館・(下新倉小学校)

施設HPアドレス

【下新倉小学校】 <http://shimoniikura.wako-city.ed.jp/>

【図書館下新倉分館】 <http://www.wakolib.jp/>

【下新倉児童館】 <http://www.wako-shakyo.or.jp/>

<ポイント>

- ・学校教育空間、地域開放空間との明確な区分の中にも、地域との交流や地域活動の支援、地域の活性化につながる施設となっている。

施設概要

- 複合施設(床面積) / 8942.74㎡
 - ・下新倉小学校 (7856.81㎡)
 - ・下新倉児童館、下新倉学童保育クラブ (504.58㎡)
 - ・図書館下新倉分館 (581.35㎡)
- 整備時期 / 平成28年
- 構造 / RC造・S造・SRC造 地上3階
- 総工費 / 43.6 億円 (用地費除く)
- 主な財源 / 一般財源



和光市立下新倉小学校 外観

施設整備の背景

- ・市内の児童数増加により、既存校の大規模化解消及び南北の小学校配置の適正化をする必要があった。
- ・市の北側地域には公共施設が少なかった。
- ・既存の児童館・保育クラブの場所を活用し、両施設の建て替えと、市内に1館しかない図書館を複合化することで、地域の生涯学習やまちづくりの拠点にもなる学校施設を目指した。

管理・運営の体制

施設	利用時間	所管	管理・運営	職員数	複合化前職員数
小学校	8:00 ~ 15:50	学校教育課	学校教育課	24	
児童館	9:30 ~ 17:00	こども福祉課	社会福祉協議会	5	6
保育クラブ	10:30 ~ 19:00	こども福祉課	社会福祉協議会	10	10
図書館	9:30 ~ 18:00	生涯学習課	生涯学習課	10	

施設の配置・動線

<ポイント>

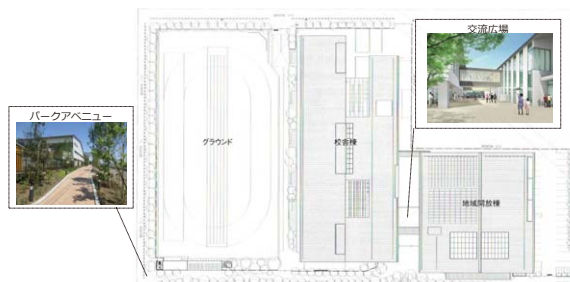
- ・小学校部分の校舎棟と児童館・学童保育クラブ・図書館分館のある地域開放棟の入口は分かれており、動線が区分されている。
- ・小学校部分の体育館・プール・家庭科室・音楽室・図工室についても地域開放可能な設計となっている。
- ・小学校の学校図書室と図書館分館は隣接し、セキュリティへの配慮からガラスで仕切られているが、ドアから行き来ができるようになっている。



平面計画上の特徴

<ポイント>

- ・複合化の中心に市民を誘引するアベニューと名づけた遊歩道を配置。
- ・小学校と地域開放施設との間の空間に交流広場を配置。



複合化・集約化による効果と課題

【効果】

- ・学校教育空間、地域開放空間との明確な区分の中にも、地域との交流や地域活動の支援、地域の活性化につながる施設となっている。

【課題】

- ・各施設による4者（小学校、図書館分館、児童館、学童保育クラブ）で調整会議を行っているが、小学校部分の特別教室地域開放貸出担当課も含めた体制づくりが必要と思われる。
- ・常駐の警備員は配置していないため、警備については各施設ごとの対応となっている。



学校図書室とガラス1枚で隣接する図書館
(図書館側から撮影)



下新倉小学校アウトリーチコンサート

主な特徴

○ 集約化・複合化による相乗効果の発揮	○ コミュニティの拠点づくり・にぎわいづくり
○ 住民の意見の取り入れ・反映	民間の力の活用（PFI など）
○ 管理運営の工夫	その他

【相互利用・交流活動】

・図書館の活用

調べ学習等で公共図書館を活用することができる。また、日常的に図書館を利用でき、小学校児童の読書推進環境が整っている。また児童館、保育クラブも連携した事業を行うことができる。

・小学校地域開放施設の活用

体育館や地域開放施設の貸出により地域住民の交流や地域の活性化が見込まれる。



図書館で絵本を読み聞かせる様子

【住民からの意見反映】

- ・地域の生涯学習やまちづくりの拠点にもなる学校施設。
- ・児童の安全に十分配慮した快適な学習環境であること。
- ・地域の人々が活用しやすい施設。

【コミュニティの拠点】

- ・児童館・保育クラブ・図書館分館で開催するふれあいまつりや、夏の地域のおまつり（サマーフェスタ）を開催することにより、地域住民の交流が図られている。



サマーフェスタの様子



地域の自治会協力によるもちつき

地域住民・利用者等の声

- ・学童保育クラブへのお迎えの帰りに図書館で本を借りることが出来て良い。
- ・小学校に隣接している施設を利用することで、自然に子供たちの見守りができる。
- ・新住民が増えている地域なので、旧住民との交流、コミュニティの拠点として活用できる。